

			1	2
団体名			ママノア編集部	特定非営利活動法人介護研究会笑
活動内容			年に1回、未就学児をもつ保護者の方にむけた子育て応援情報誌（フリーペーパー）を発行しています。 メンバーはその年によって変わります。	メンバー構成： 役員（代表含む6名）非常勤職員8名、その他講師20名 活動内容： 介護職員養成等事業（人材育成＝福祉に関する）、個別相談、介護予防事業、地域サロン活動（地域福祉向上の為の事業）機関紙、HP etc. 活動の範囲： 愛知県内、岐阜（南濃、海部）三重（キソ岬、くわな、なかほ、いなべ）
コロナ禍の影響			2021年に町民まつりが中止になったとき、取材対象者をさがすのに苦労しました。	研修事業やサロン活動など、中止、又、その後のフォロー等、大きく影響されました。ZOOMの活用やバーテーションの設置や消毒資材など、施設ではない為、自費での購入を行い、パソコン等の整備など、入金がへり、出費がかさみ一時は断続が出来ないかとも思いましたが給付金etcのおかげで、何とかもちこたえていますが現在も、その赤字が解消されていない現状です。
課題			「今後、いつまで続けるか」です。 手間のわりには収益がないので…。	メンバーや講師の高齢化又、若い人材が（次の事業継続のための）いない その理由として、手間がかかる割に、収入ののびなやみがあり、地域にねざした法人として、信頼はされているが、きびしい状況である。
力を入れていきたい活動			特にないです…。	権利ようご（後見活動）について、今は代表が個人でひきうけ活動しているが、法人後見への移行について検討している。
他の団体との連携	連携したい団体		ない	あま南部権利ようご後見センター
	期待できる活動の展開			市内で支援の必要な方へのサポートの充実
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	学童で外部のお弁当が取り入れられたこと。	それぞれの持場での運営は前進していると思われる。
		課題	子供を気軽に預けられる場所がないこと。 保健センターが町の中心から遠いこと。	横の連けいについては、弱い傾向がある。
	教育・文化	良くなったこと	実感があまりありません	同上
		課題		同上
	環境・安全	良くなったこと		同上
		課題	近鉄蟹江駅のロータリー、人と車がぶつかりそうでこわいです。 東郊線踏切	同上
	都市基盤・産業	良くなったこと		同上
		課題		同上
行財政・共生	良くなったこと	マルシェなどイベントなどたくさんやっていただいています。ごく楽しいうれしいです。	同上	
	課題		同上	
まちづくりへの提案			小中学校の体育館にエアコンをつけていただきたいです。災害時に避難できないのでは？と思います。	☆たて割でなく横の連けいの強化について、(に、仕事を与えている市分もあるかと思われる) ☆若手職員の育成について（能力のある人材をのびのびと育て、次世代につなぐとよい）
備考欄（添付資料の有無等）				添付 令和7年度事業計画書 特定非営利活動法人 笑

蟹江町 団体アンケートまとめ

団体名			3 特定非営利活動法人 にこにこママネットワーク	4 NP0法人 活き生きかにえスポーツクラブ
活動内容			蟹江町在住の母親51名で構成。 年に数回「にこにこママフェスタ」やチャリティコンサートなどチャリティイベントを開催し、被災地や町内の保育施設に寄付。「蟹江子育て支援センター」「ファミリーサポートセンター」を運営し、事業の一環として多世代交流イベント、プレーパーク、みんなの食堂もうやっこを開催、子育て世代と地域をつなぐ活動をしている。	総合型スポーツクラブとして、一般（大人）6種目、子ども7種目の講座を展開、371名の会員さんに運動の機会を提供しています。
コロナ禍の影響			子育て支援センターや、プレママサロンなど、参加人数が大幅に減り、にこにこママフェスタが中止になることもあったが、逆に「コロナ禍だからこそ必要な支援」をし、孤独を感じる母親のサポートや、学校休止期間の外あそび場作り、生活困窮支援のフードパントリー、屋外会場でのイベントに力を入れたので、ボランティアの数も減らず、ネットワーク登録者も増え、つながりを強化することができた。	・会員数の減少 ・施設利用不可のための休講 ・クラブ収益の減少
課題			中心的なママボランティアだけでなく、中学生や地域ボランティアも増え、できることが増えてきた分、それを開催する「会場」の確保が難しいと感じる。公民館や、希望の丘、学戸グランドなどを、地域活性イベントを開催しやすい場所になるよう、利用制限を再考してもらいたい。	施設の確保、確実に確保できる施設が欲しい。 ここから10年続くクラブとしての若手スタッフの確保。
力を入れていきたい活動			特に子育て中の親世代と、小学生、中学生を対象にした防災意識向上のための取組みに力を入れたい。「蟹江で子育てをする保護者は全員防災講座を受けている」「蟹江の子ども達は全員いざという時に、自分で考えて行動できる」と言えるように、防災の意識向上の機会を作りたい。	続くクラブとして、正職員として雇用ができる資金の必要性、部活の件にでも対応できるスタッフの数などに力を入れていく必要があると考えている、講座の内容も含め稼ぐクラブにもなるために他の総合型との交流を深め良きノウハウをとり入れていくようにしたい。
他の団体との連携	連携したい団体		中学校・小学校（防災教育）PTA（すでに防災減災の会や、ボランティア会とは、連携させてもらってます。）	スポーツ推進 子ども支援団体、企業、商工会など、観光
	期待できる活動の展開		防災意識の向上。	多くのジャンルの団体がつながりを持つことで、アイデアが生まれ、より町内の活気が出ることが期待できる 町内運動会など
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	子ども課を中心に、その時の課題に、柔軟に対応して下さりひとり親支援などできることが増えた。	
		課題		住民が増え、保育所、学童への子ども達が増えたのか、あたたかみを感じることが減ったように感じる。（働くお母さん達への支援）
	教育・文化	良くなったこと	「祭人」を中心に、文化や町のことを知る機会が増えた。教育環境も、格段に良くなっている。	
		課題		
	環境・安全	良くなったこと		
		課題	特に若い世代の防災意識が低いと感じる。	
	都市基盤・産業	良くなったこと	JR蟹江駅が使いやすくなり、近鉄の自転車置き場やロータリー整備で、使いやすくなった。	JRエリアの改善により、周辺が整備されたこと。
		課題	近鉄蟹江駅付近	
行財政・共生	良くなったこと	協働事業のおかげで、市民活動団体が増え、まちづくりに参加しやすくなった。	当クラブの取り組みの中で高齢者の中でも積極的な人が多くなったように思います。	
	課題			
まちづくりへの提案			近年あま市や愛西市では、若い世代が集まり、市と一緒に街づくりイベントやマルシェを開催し、賑わいを作っているの、蟹江町でも、行政、商工会などの組織、町民と一緒に開催できるイベントや市民活動の機会を作り、学生も巻き込んで一体感を味わえると良いなと思います。	
備考欄（添付資料の有無等）				

蟹江町 団体アンケートまとめ

			5	6
団体名			スポーツ協会	蟹江町文化協会
活動内容			蟹江町在住、在勤など、近隣住民 活動内容は、各スポーツ団体の練習及び、大会の運営	文化協会は美術、文学、歴史、技芸、囲碁、洋楽、邦楽、舞踊、詩吟などの部門があり、各団体が日々の研鑽、努力の成果を町や内外に発表会を開催しています。 夢と感動、明るい希望と勇気、人と人との絆など多様な価値観、創造性を築くことを目指しています。
コロナ禍の影響			影響あり ・練習及び大会時には、各選手との距離が近づくため、不参加者が多かった。 ・緊急事態宣言により公共場所が使用出来なかった。	1、日々の練習や人と人との絆を育む場所や接触などが、十分に出来ませんでした。 2、練習会場や発表会場の使用中止や制限があり、町内外への発表や交流が出来ませんでした。 3、人と人との接触やコロナ対策で文化活動が出来ませんでした。
課題			各団体共、協会員の減少	1、指導者や会員の高齢化、生活様式や価値観の多様化などで会員数の減少が続いています。 2、新規会員や若年層の文化協会への加入促進が緊急の課題です。また後継者の育成や役員の教育、意識改革など文化を通した生きがいづくりが大切です。
力を入れていきたい活動			近隣市町村とのスポーツを通じての活動	「文化の育つ高い町づくり」町民が文化興味を持ち、気軽に参加して人と人との絆を育む。できる人ができることを提案し、実行できる人づくり 蟹江町の伝統文化を継承し、発展させる協会にしたいです。
他の団体との連携	連携したい団体		ない	愛知大学や近隣の高校、文化芸能団体、防災減災などの地域団体
	期待できる活動の展開			他団体との交流で文化の裾野を広げ、人づくり町づくりに活かす。
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	泉人の中に子供の遊び場ができた。	少子化対策、高齢者福祉、包括支援センターの活動と充実、サロン活動など
		課題	不明	リーダーやコーディネーターの育成、後継者の育成など
	教育・文化	良くなったこと		蟹江町は歴史・文化の宝庫、掘り起こし、継承する団体の育成
		課題	蟹江町は、歴史上いろいろな史跡はあるが、整備がされていない	同上
	環境・安全	良くなったこと		交通安全や防犯活動のボランティア充実の防災減災の各種マップ作り
		課題	ヨシヅヤYストア前の街路樹の剪定による見通しの良さが獲得された。	同上
	都市基盤・産業	良くなったこと		住宅の密集地域の改善等を町内会など自主的な活動 空き店舗や空き家対策
		課題		同上
行財政・共生	良くなったこと		地域団体の共同やサロン活動などボランティア活動の活性化推進	
	課題		同上	
まちづくりへの提案			踏切の拡幅	だけじゃないらしさのあふれる粋な蟹江、総合計画は素晴らしいです。本計画を地域の団体などと共生社会へ推進して下さい。期待しています。
備考欄（添付資料の有無等）				

蟹江町 団体アンケートまとめ

団体名			7 かにえ国際交流友の会	8 学戸ホテルの会
活動内容			・かにえ国際交流友の会は一般会員（約80名）、企業・賛助会員（20社または団体）、特別無料会員の外国人会員、学生会員（中高生）から構成されている。 ・大部分の会員は蟹江町あるいは近郊自治体に在住あるいは勤務している。 ・年間を通じて在住外国人を交えて交流出来るような各種イベント例えば日本語教室、名大外国人研修学生ホームステイの受け入れ、音楽コンサート、クリスマスパーティーなどを催したり、外国事情の理解のため各国出身の方にお話を伺う「国際理解講座」を設けたりしている。 ・各年度の終わりには活動周知のPRのため会報等も発行し、31号に至っている。	・メンバー、一般3名、加藤建設5名、学戸小5名 ・5月頃に幼虫の数 6月5年生全員にてホタ小家に幼虫の放流やってもらい生徒全員にてホテル生態や環境について、今日、70年前と、どう変わって来てるかの全員で話し合う。
コロナ禍の影響			多いに影響があった。 ・まず、コンサートの実施時に感染防止に余分な神経を使わねばならなかったこと（会場設営など）。 ・2020年度と2021年度にはイベント活動などの中止（例：総会後の懇親会の演奏会、上記の学生ホームステイの歓迎会などへの参加機会の減少）を考慮して年会費を一律減額（3千円から千円へ）したこと、町民祭り出店中止（2年分）による収入減は以降の行事開催の制約となったこと。	コロナ禍に、人との合流が出来ないとの事で一般の観賞会、中止に3年間やめました。飼育員だけがホテルの飼育に、つとめてもらいました。
課題			会の役員と会員構成の硬直化が一つの大きな悩みである。これは私達のPR活動の弱さからかもしれないと反省するが、若い世代あるいは中堅世代の人々から役員の選任が難しく、同じ役員で長年引き継いで行かなくてはならない状態が続いている。 また、会の各種イベント類で使用する道具類（プリンター関連含む）、資料類を保管する場所が無くて困っている。今は役員個人の倉庫等を借りているが、会議ができ、道具を保管出来る恒久的な施設があれば望ましい。	飼育員が、実動毎日の世話が出来る人が1名と加藤建設さんに3名ほどでやっているのが現実です。
力を入れていきたい活動			現在会の活動は外国人との交流を楽しむ活動、あるいは日本語教室による外国人のための日本語学習等に力点が置かれる傾向にある。現在の力量からは高望みではあるが、在住外国人の生活上の悩みとか不便さを取り上げて相談にのることもできるような体制を作ればと考えている。	令和6年11月11日（月）に学戸小学校長室にて今後ホテルの会話まで来てる現実です。
他の団体との連携	連携したい団体		社会福祉協議会 消防署	現実 加藤建設、海部ロータリークラブに長年、御世話願ひして来ました。
	期待できる活動の展開		気候変動による大災害や、南海トラフ地震が心配される中、外国人に防災訓練の機会を与えたり、災害に遭遇した場合の対応などを指導など、日本で安心して生活してもらえるようにしたい。	5年後の生徒のホテルの放流の時のホテルや環境の話合が、いまをしてもらえる事が一番です。
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	子ども家庭課が設置され子育てに不安等のある母親等を支えている。	
		課題	今後、独居高齢者の増加に伴い、孤独死などが大きな問題になるのではないかと。	
	教育・文化	良くなったこと	楽人、祭人、泉人など蟹江町特有の施設がうまく稼働していると感じる。	
		課題	蟹江町が歴史ある町であることの認識が薄れていっているように思われる。	
	環境・安全	良くなったこと	川、田畑など自然も残り大都市では希薄になってきている地域、町内などの付き合いがある。	
		課題	海拔ゼロメートル地帯であることを忘れずに生活する必要がある。	震災の時に避難場所に高速道路がつかえないか？
	都市基盤・産業	良くなったこと	2本の鉄道と3つの駅があり、多くの幹線道路が走り、大都市と直結している。	
		課題	産業が少なく大きな企業を誘致出来る土地の余裕もないので、発展が難しい。	
行財政・共生	良くなったこと	当会は日本語教室をはじめ、年に数回のイベント等を通して外国人との共生に多少でも貢献できるよう努めている。		
	課題	外国人を労働力としてのみ見るのではなく、個々の人格を認める蟹江町であって欲しい。		
まちづくりへの提案			若い人達の力や意見を蟹江町の行事や災害時等に反映できる体制や組織が出来ると良い。町内会単位に老人会があるように、昔の青年団のような組織が身近にあれば、若い人も気楽に参加できるのではないかと。大きな災害が起きた場合、力強いボランティア組織になるのではないかと。	
備考欄（添付資料の有無等）				

蟹江町 団体アンケートまとめ

			9	10
団体名			非営利団体 ONiGiRi	蟹江川をきれいにする会
活動内容			・現在活動に参加しているメンバーと後方支援のみのメンバーを加え、総数89名です。 ・毎月1回定期開催している子ども食堂（11：00～15：00）、不定期開催（1ヶ月に1回程度）フードパントリー、週2～3回の夕方子ども食堂（16：00～19：00）、災害支援として被災地での炊き出しや土砂かきなどを行っています。	・婦人会及びOBの方、嘱託員、会員数名。 ・かにえ川の清掃、春、秋、2回 河川パトロール年2回、今年度からは役員のみ、自転車です。天王橋～河合小橋まで一周します。水質調査、12カ所、内川も含む、文化祭出展。 ・会報年一回2月発行。
コロナ禍の影響			・コロナ禍では、他のボランティア団体の運営が困難な状態時や学校閉鎖時には、多くの子どもたちの預かりをたのまれ、子ども食堂の回数を増加していた。 ・コロナ禍での家計の悪化によりコロナ禍以後もフードパントリーを利用される方は年々増え、生活困窮者から相談の電話が増加している。	活層は中止しました。 プランターの管理は行っていた。 お花の水やり、交換。
課題			子ども食堂事業において物価高騰により、支援してほしい家庭が増加する一方で、食料の確保が（フードバンクに物が足りない状態）難しく、支援の仕方を考えなければ多くの方への支援が難しい。助成金や補助金の活用が出来なかった上半期は寄付に頼る方法しかないため、運営回数を増加させられなかった。行政がボランティアに依存することのない行政からの補助が必要である。	会員がいない。（人数が少ない。）新しい人材が参加しない。 役員のなりてがいない。
力を入れていきたい活動			・子育て世帯の家計を助けるべく、フードパントリーの実施を増やす取り組みを強化するために、企業に賛同していただける様、活動について周知させていきたい。 ・SDGsに関わる活動を、子どもたちに広く伝えていきたい。	私たちの活動は、「けいもう」活動です。現在のままで活動していきたい。
他の団体との連携	連携したい団体		鍋蓋町内会（現在連携している） あいち子ども食堂ネットワーク（現在連携） 愛知県福祉局福祉部地域福祉課 生活困窮者支援グループ（現在連携）	事務局を行政（環境課）にお願いしている。
	期待できる活動の展開		より多くの方へ周知できる	会は町民全体の活動ですので広報（まちから）で町民に呼びかける
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	・夕方保育時間の拡充 ・多文化共生の分野において、プレスクールやブレプレスクールの拡充がされたこと	
		課題	・高齢者が移動しやすいまちづくりをすること ・障害者に対して、障害をもって産まれた子どもの居場所づくり	
	教育・文化	良くなったこと	祭人2階にある展示室 ・とてもわかりやすく、須成祭について学びを深めることができる。	
		課題	子どもから高齢者まで多くの方が、蟹江町の魅力や歴史について深く知ること	
	環境・安全	良くなったこと	ヘルメット着用促進事業として補助金が出たこと	
		課題	・災害時に対する初動強化 ・町内ボランティアと行政の連携 ・情報発信の仕方	・道路、整備が必要 ・災害が、特に（水）心配 ・0メートル、地域であります
	都市基盤・産業	良くなったこと	JR蟹江駅周辺の整備	（JR）駅前が開発が進み便利になった。
		課題	・子ども達が安心してボール遊びができる公園の整備、分かりやすい掲示 ・観光産業の発展	
	行財政・共生	良くなったこと	自主防災会との連携	
		課題	・男女共同参画の推進 ・官民連携の推進	
まちづくりへの提案			・互いを尊重し合い、多文化共生社会に対する認識を高め、支え合い向上し合えるまちづくりを望んでいます。 ・子ども達が健やかに成長し、学べる環境づくり、多世代が交流を深めていける環境づくりを是非取り組んでいただきたい。	
備考欄（添付資料の有無等）				

蟹江町 団体アンケートまとめ

			11	12
団体名			富吉防犯パトロール隊	蟹江町商工会青年部
活動内容			・メンバーは、１７人 ・活動内容は、別紙活動実績書参照	・４５歳以下の男女で構成されている。現在４０名の部員数で、内２名が女性です。 ・主に、部員の資質向上を目指す活動を続けており、町民まつりをはじめ、カラオケ大会やサンタクロース訪問事業などを計画しています
コロナ禍の影響			毎月２回の夜廻りパトロールを中止したことがありました（パトロール者間の感染防止のため）	・ミーティングを行う際、オンライン参加になったことで、部員間の交流を図ることが障害になったことは否定できないかと思っています ・対外的なイベントもほとんど開催できませんでした。
課題			パトロール隊員の高齢化により、夜廻りパトロールの出席率が悪くなったり、除隊される隊員が出てきている。又、児童の登下校見守り隊員も高齢化により、除隊される方が出始めている。	部員の参加意識向上です。
力を入れていきたい活動			防犯対策 ・防犯ビデオカメラの取付による安全な町づくりの推進 富吉駅南北の駐輪場における自転車盗難件数が多いため、この撲滅を図るため、防犯ビデオカメラの設置と蟹江警察署とタイアップした「住宅の防犯診断」を実際に町内の住宅に行き実施する。	部員が地域に向けて活躍できる場面を増やしていきたい
他の団体との連携	連携したい団体		既に隣接町内会であるグリーンハイツ町内会と防犯連携している。	蟹江町行政
	期待できる活動の展開		防犯活動の範囲が広まり、犯人を追いつく事が出来、相方の安全に寄与できる。	公共施設の利活用
直近５年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと		なし
		課題		子育て支援 街で行われている子育て支援がわかりにくい 具体的なことをSNS等を利用して子育て世代に向けてアピールすべき。
	教育・文化	良くなったこと		昔の蟹江町の写真の展示は、当時の風景がよく分かり、良かった。
		課題		町から人材の流出、町の歴史を知る人が少なくなっているように思える。もっと伝統ある歴史文化を多くの人に伝えていただきたい。
	環境・安全	良くなったこと	日光川の堤防の強化が以前よりはかられ安心度が以前より向上した。	飲食店や買い物が出来る店が多くなった。
		課題	しかし、まだ未着工部が残っており、スピード感を持って早急に完工してほしい。	災害への対策対応 ・海拔ゼロメートル以下の地域と認識しているが、液状化の影響は対策出来ているのか。
	都市基盤・産業	良くなったこと		蟹江町を映画やドラマのロケ地として行われたこと。
		課題		駅前に活気がない、駅前に限らないが、名古屋市のスタートアップのような新規事業を取り組みたい人への支援策がほしい。
	行財政・共生	良くなったこと		なし
		課題		町内会のあり方。若い人たちがなぜ町内会に入らないか、入らなければならないか疑問に思っている。
まちづくりへの提案				
備考欄（添付資料の有無等）			活動実績書（令和５～６年）	

蟹江町 団体アンケートまとめ

			13	14
団体名			蟹江一番街発展会	アラウンド近鉄蟹江発展会
活動内容			・主に本町エリアの商工業者が中心メンバーとなり、地域の発展、また各会員の事業の発展に寄与すべく活動をしています。 ・これまで、地域におけるイベント（Aloha de 一番街、各地マルシェ）などを企画運営また、YouTubeチャンネルを開設し会員事業所や地域を紹介する動画を公開するなど、している。	近鉄蟹江駅を中心とした地域の中の飲食店や物販店 近鉄駅前通り商店街などで、「弁天縁日」という催しを行ってきました。
コロナ禍の影響			イベントを開催できなくなったことから、活動をウェブによるもの（動画制作）にシフトせざるを得なかった。	コロナ禍以降は、活動していません。
課題			各活動メンバーが少数でほぼ固定となっていることから会員さんの団体への帰属意識が希薄になっているのではないかと感じている。	人材不足。
力を入れていきたい活動			コロナ禍によってイベント等が開催できなくなり、会員の会の活動が少なくなってきたという側面もあり、イベント開催(Aloha de 一番街)を復活させた。結果会員参加という面では課題は残したままではあったが、地域の盛り上がりという点では一定の効果があったのではないかと感じている。今後もこの事業については継続的かつ積極的に続けていきたいと考えている	日本の国民、蟹江町の町民が減少していく中、蟹江町が元気のある町、活気のある町として永く魅力のある町となるよう、商売人として、行政、自治会などに協力していけたら、と考える。
他の団体との連携	連携したい団体		各発展会、町内会	町内会
	期待できる活動の展開		様々なことができると思うがまずはできることからイベント事業の連携がまずはできることかと思えます。	蟹江小学校区では、現在、盆踊り等の催しが行われていないと聞いています。子供達（大人も含む）の為に、開催ができればと考える。
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと		
		課題	・子供と老人がふれあう機会をもっと増やすような施策を ・蟹江ならではの施策を	
	教育・文化	良くなったこと	小学校での蟹江町についての話があり、小学生世代では町に愛着をもつ子供が多いと感じる	須成祭をはじめ、町内観光のアピール等
		課題	中高年世代への啓蒙	
	環境・安全	良くなったこと		
		課題		災害が起きた時の避難が不安。
	都市基盤・産業	良くなったこと		
		課題	近鉄蟹江駅南の開発	
行財政・共生	良くなったこと			
	課題			
まちづくりへの提案			全方向、全世代に対する施策をすべて行うことはなかなか難しいのではないかと（計画上挙げなければならないことは理解しています）蟹江町独自の施策、例えば英語教育の充実など次世代に向けた取組みを特に重点施策として検討されることを望みます。住みたいと思わせるようなものがないと転出も増えることが想定されますし、移住したいと思われません。	蟹江町の発展会として、活動していく上で、今後、事業者が増えていくのは考えにくいので、行政と一緒にできるイベントを行えたらいいのでは？と考えます。
備考欄（添付資料の有無等）				

蟹江町 団体アンケートまとめ

			15	16
団体名			尾張温泉郷発展会	あいち海部農業協同組合 蟹江支店
活動内容			・年一度のイベントの実施。 ・会員との総会懇親会。	営農事業、経済事業、生活・資産相談・葬祭事業 信用事業、共済事業
コロナ禍の影響			別に変わらず。	度重なる緊急事態宣言の発出による経済活動の停滞により、来店者数も減少し、一時的に事業利益が減少しましたが、機構改革や施設再編等の経営合理化を図り、自己改革に取り組んだ結果、令和4年度にはコロナ禍前の水準に回復しました。
課題			発展会事務局員のなり手不足	・組合員の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少 ・人口減少に伴う国内マーケットの縮小 ・宅地等への転用等による農地面積の減少 ・国際情勢の不安定化による生産資材・肥料・燃料価格の高騰・高止まり。
力を入れていきたい活動			別に今まで通りで良いと思います。	農家所得の向上と魅力ある地域農業のための自己改革として、 ①予約相対取引や、買取り取引の拡大 ②実需と結びつけた播種前出荷契約米の数量確保 ③指定日取引及び園芸フェアの開催による生産コスト削減に取り組んでいます。
他の団体との連携	連携したい団体		ない	ない
	期待できる活動の展開			
直近5年について	子育て・健康・福祉	良くなったこと	公園も多くあり家族づれ、友だちどおし、サッカースクールなどにぎやかである。	
		課題		
	教育・文化	良くなったこと		
		課題	歴史ある町ではあるが、町外の人の方がよく知っているのではないが。	舟入小学校の蟹江小学校への統合
	環境・安全	良くなったこと	田んぼがどんどんなくなり家屋が多くなり人も増えた。	
		課題	その反面、雨が多量に降った時その水は？心配になる。	南海トラフ巨大地震発生時の安全対策・ライフラインの耐震化 外国人の増加による？環境・治安の心配
	都市基盤・産業	良くなったこと	中央道沿いは、お店も多く、にぎやかである。スーパー薬局も多い。	
		課題	中央道その他の道も交通量が多い。抜け道としてもつかわれる。危ない！	生活道路アスファルトの穴が目立つ。 農業に関して優良農地とは何か、補助金もない。
行財政・共生	良くなったこと	？		
	課題	？		
まちづくりへの提案			足湯の有る通り。下水道事業で桜の木が伐採されました。また新しく桜の木を植えていただきたい。	近鉄蟹江駅周辺鉄道の高架化もしくは橋上駅化による渋滞の解消。 近鉄蟹江駅南地区の市街化。 尾張温泉周辺の再開発。
備考欄（添付資料の有無等）				